

# 1月の果実の見通し

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	前年比 見込 (%)	5か年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5か年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
みかん類	16,170	下回る	15,239	249	101	245	0	0.0	静岡、長崎、愛媛中心の入荷となる。産地は気温高と降雨の日が続き、一般的に質が良くなかったため、年末にかけて品薄感が強まり高値で推移した。1月からは静岡産「青島温州」中心に、長崎産も出荷される。食味は優れるが入荷量は前年を下回り、価格は前年並みの見込み。熊本産香川産の早生完熟の出荷も始まり、品質の高さから引き合いは強い。
いちご類	3,823	やや下 回る	3,762	1,385	98	1,272	0	0.0	栃木、福岡、静岡、佐賀産中心の入荷となる。「とちおとめ」「あまおう」中心。気温高で各産地ともに前進気味の出荷となっていたため、年末年始には減りこみが予想される。初売りで需要高まる大玉で特に不足が懸念され、年明けの価格はしっかりするが、その後下げ基調となる見込み。冷え込み弱く、2番果も順調に出荷されることから、1月の価格は前年をやや下回る見込み。
ほしがき	357	上回る	278	1,629	102	1,746	9	2.6	長野、福島産が中心となる。福島産が戻ってくる。気温高の影響で出荷が遅れている。入荷量は前年を上回り、価格は前年をやや上回ると見込まれる。
りんご類	6,269	105	5,390	276	105	281	252	4.0	青森産が殆んどで、品種はふじが中心となる。食味の印象が非常に良く、消費者の評判は良好。もう一段価格が高くなると扱いにくい小売価格となるため、引き続きの安定出荷がのぞまれる。